



## アジアを知ろう！スリランカ編 インド洋の真珠3 一月15日 「スリランカの教育・経済」

お話 コロンボ出身トウシャヤーラさん。

流暢な日本語で、自在に会場からの質問に答えるトウシャヤーラさん。高校卒業来日、一年間の日本語学習で翌年には、亜細亜大学経済学部に入學、武蔵野市国際交流教会MIAや、市民交流団体MICの支援を活かしながら着けられた日本語の実力は素晴らしいです。

ポスターのコロンボ港の様子自体が、紅茶やココナツのスリランカイメージを破りました。

スリランカは、60%の仏教徒シンハラと、タミール(ヒンドゥー)ムスリム(イスラム)、キリスト教徒など信仰も絡む国内の対立もあり、前2回の研究者の歴史的経緯のお話には厳しい問題が指摘されていました。しかし、今回の、コロンボに育ち、また今も家族が暮らしているトウシャヤーラさんの話からは、信じる神様も、生活様式も、時に食べるものも違つてはいても、普段は当たり前に付き合ひ、他の宗教でもお祭りには出かけ、お祝いの食べ物はあげたり貰つたり、問題なく融和して暮らしている、紛争は権力に近い人のものというところがよく分かりました。父はネツスルに勤務。

ご自身は一時、和歌山県のたわしの技術をスリランカに運び、現地のココ椰子の殻の繊維で亀の子だわしを作る仕事もしました。椰子のたわしは静電気が起らないので競走馬を洗うのはこれ無しではやれない。

治安も問題なく、素晴らしい美しい国なので、是非観光できてほしいとの事でした。厳しい寒気の中参加者50名を超えまし



た。休憩時間のスリランカの人気のスイーツワタラツパン(ココナツミルクとシナモンの、固めのプディング)も大好評。ワタラツパンは、タミルのお菓子ですが、全国的に好まれているそうです。

## インド洋の真珠4 三月5日 宗教と文化・民族

### 「犬とカラスへの施しースリランカ上座仏教社会に見る食と動物」

お話 渋谷利雄和光大学教授

スリランカでは、あらゆる生きとし生けるものは、輪廻の宇宙でつながっている。だから、生きている間は功德を積んで、来世でのより良い再生を願う。不殺生戒を守り、普段の生活でも虫や動物は人は殺さない。農業でも害虫害獣はフクロウなどに捕つてもらおう不殺生の農法を行い、田畑にはココ椰子の実を使ったフクロウの止まり木が立ててある。仏、神々、悪霊、死霊に対して功德を送る。その主たる行為が布施です。スリランカは人間と動物が近い。日常的に鳥や動物に食べ物を与えるのが当たり前で、鳥も動物も人を恐れずく近くにいる。中で犬とカラスは、常に飢えている惨めな存在で、来世はもうなりたくない。

布施とは、僧侶に食べ物を供すること、それが他者に、また鳥や動物にも食べ物を施すことにつながる。檀家から寺院へ、弱者



や旅人へ、鳥や動物へ、食べ物を施すことで功德が積まれる。

孤児院や老人ホーム、障害者施設の運営や食事は、この布施を行う人の月間一覧表が出来ていて、それで賄われます。

50人分60人分を提供し後片付けまでする。布施の予定がない時だけ、施設は食事を自前で作る。だから、戦乱や災害時にも餓死者が出ない。互助というか共助。日本や西欧などと福祉の在り方が違う。

僧は大切にされており、僧侶には丁寧な調理された食事が日に2度檀家から届けられる(仏教は肉食を禁じていない)。

仏壇には仏像だけ。かつては墓もなく、墓石の歴史も新しい。墓参りもない。布施という行為で死者とつながっているのです。

(記録は少々お待ち下さい)

## 三遊亭橘也の九浦落語会

プラス 長束宏文さんの落語学一月26日  
雨模様ながら沢山の方のご来場で橘也さん目出度く新年をスタート。この日は「牛褒め」と、ねたおろしの「佐野山」。伝説の名横綱谷風と、貧乏神の十両佐野山の千秋楽の対決を巡る人情話系の大物です。時節柄の話題を枕に楽しい会でした。長束さんは、落ちに関する解説を、じっくり何回かに分けて連続講義の予定です。

## ついで 「オール女子大通り問題」

下水貯留槽、四軒寺のすいすいプラン、拡幅に伴う歩道の高さの問題、杉並区までの区間をどうするかなど、多岐にわたりましたが、問題の多さため息をつくばかりでした。

## 東コミ局 センターからの お知らせ

11.03.31

▼変なおいがすると苦情があった児童室のカーペットを、思い切つてクッションフロアに換えました。今度は拭き掃除もできます。児童室でも高いカーペット利用が多いですが、赤ちゃんが寝転がりたり這い這いたりします。今まで通りスリッパを脱いでください。

▼白を新調↓2面記事

▼児童室はドアの不具合は直りました。エアコンは担当課に修理というか換えてほしいと依頼中ですが、苦戦です。

▼一月12日(水)移動児童館わいわい広場はハートの小物入れ作り。新学期早々で学校行事が重なり短時間でしたが、小学生が19名参加。作業後はデコペンで盛り上がる。

▼希望の出ているA3用紙を半分折れる折機は、センターもほしいのですが、使える器械は14万円程し、年間の備品費10万円をこれだけで越えるため、苦慮検討中です。

▼下駄箱のスリッパ入れを改善します。

▼2日ばかりで畳を替えました。

▼素人の悲しさで、総会準備のこの時期に、センターのパソコン不調を専門家に見てもらったら、作業メモリの残容量が3%でした。調整作業に必要な空き14%なのに、その作業をするテーブルさえない状態。データを他に移したりして回復作業中で、ホームページはまだ休止中です。

▼三月11日の東日本大震災による計画停電と省エネの影響で、急に夜間閉館となり、ご迷惑をおかけしました。

▼日中は事務一人です。地震予報時は鈴を鳴らします。鉄筋平屋建てで耐震度は高いので、窓を開け逃げ道を確保してください。

▼運営委員を募集しています。左記へ電話を

▼吉祥寺東コミ電話は二一四一四一

# 街づくりができるのは、

夜間の節電も大事です。火力発電の燃料節約、揚水式水力発電のダムへの夜間汲み上げに使う電力用にまわすなど、深夜の節電は役立ちます。

## 国土交通省「設計・用地」説明会実施

一月19日(水)夜7時から、本宿小学校体育館で「外環本線に関する基本設計及び用地に関する説明会」が行われました。校門から会場まで、両側に係員が立ち並び、物々しい雰囲気でしたが、計画線上の住民対象であり、場内でも淡々と説明が行われ、質問もいつもより少なめでした。

\* \* \* \* \*

◆三月7日、3コミセン外環問題協議会の勉強会で、古谷圭一東京理科大学名誉教授により「外環予定地の地層と地下水の状態について」、噛み砕いた解説が行われました。

## 1万トンの汚濁雨水貯留槽計画その後 二月10日夜7時

### 寒中の三中全会議室で下水貯留槽説明会

合流改善が武蔵野市にとって重大な課題であることは東町の住民には理解されてきました。下水道課が十二月に行った類似施工先進事例見学の際、狛江市西野川の2万トン貯留槽予定地で、下水道課長は「武蔵野市はこの建設費も負担しているんです」と言いました。

そうなのです。川のない武蔵野市は下水処理場がないため相当なお金を払って、都の落合水処理センターと森が崎センターに汚水処理を依存しています。住民も、武蔵野市が合流改善のために一時汚濁雨水貯留槽を造らねばならないのは十分理解します。しかし、住民が発した質問に答えはまだ出されていません。

その状態で、突然、法政記念館跡地周辺の少数のお宅に、三月13日「合流改善事業に伴うボーリング調査についておしらせ」(三月17日から31日の内の昼間10日間調査)が投函されました。このため、合流改善・洪水対策を考える会(後記)が直ちに署名を集めて担当課に抗議。17日からの調査は行わない事になりました。

一月12日、阿佐ヶ谷中杉通り地下の、シールド工法で掘られた集中豪雨時の駅前の浸水対策用の貯留管外径31m全長40m深度6mとJR阿佐ヶ谷駅前の建屋を深田市議に便乗して見学。

単純な比較は道路下の他の敷設物の状況、シールドの径(径が増すと、マシンも大型化、廃棄土砂も多量となる)などで費用も変わるので難しいが、中杉通りは総額10億と聞きました。

## 各戸に雨水浸透枡 および雨水タンクを



シールドで掘ったチューブ状貯留管



↑ここに掲示板が立てられました。

既設住宅の雨水浸透枡後付け時の工事費補助や、新築時の義務付けや雨水タンクの設置を求める「雨水浸透枡・雨水タンク設置増加等に関する陳情」(武蔵野市合流改善洪水対策を考える会)代表落合朋子、東町2コミセンも参加が昨秋採択された結果、下水道課が秋の制度化をめざし、この二月専門家を加えた懇談会を発足させました。前記陳情団体から落合さんが委員として出席、他に公募市民(武蔵野市報1月15日号で募集)が2名参加します。浸透枡、雨水タンクとも対象になり、新築時の設置義務付けや、既存住宅への設置誘導を図る条例などが検討される模様です。

安養寺大僧正服部賢昌さん一月逝く 享年82歳  
二月18日荘厳な告別式が本堂で行われました。市役所勤めの経験もあつて、明暦以来の旧住民とも新住民とも交流でき、街づくりにも意欲的。商業者とも中心街に大きな面積を持つお寺さんとも話が出る無二の存在でした。民生・児童委員や保護市も務められました。第四小学校の一期生。野球少年はのちに大正大学野球部の名監督に。二昔前、選挙の立会いをした折、圧倒的なオーラのあつた男性がいました。和尚さんでした。 合掌

取り外され、荷さばき場の車の通行の邪魔になるといつ理由で、東側の壁面に西向きに設置されました。速報性を担う掲示板なのに目立たなくなり残念です。場所がないという理由ですが、三月5日開設の日、植え込みの前に荷さばき場の説明板が立ちました。こは不特定な車両の利用が多いの？。掲示板は西から歩いて来れば見えます。注意してお知らせをみてください。

◎大地震後の三月18日三卒業式で132名が巣立つ。25日には本宿小49名、四小65名が晴れ晴れと卒業しました。

◎法政跡のレジデンシャルから本宿小へ9名の児童。新一年生は2クラス入確定。

東町火災 三月7日午後、二丁目25で自力消火の小火。

東町事件事故一 三月二丁目と四丁目で偽警官による多額のカード詐欺。空き巣が一丁目2、二丁目2件。内2件は無施錠でした。一件未遂。三月13日21時過ぎ松井病院横の小路で、自転車前かごのバッグをバイクにひたつた。人身事故 二月3件、女子大通りから路地の入り組んだ所ほか。三月19日昼前、宮本小路共同住宅工事場前に救急車。ほかにパトカーが一通路を逆走。宮本小路入口および東町通りとの十字路に非常線が張られました。一時、工事現場で転落事故との噂が流れましたが、同じ工務店員の歩行者と車の交通事故で、軽傷です。昨年の市内交通人身事故509件。うち自転車からみが50%強でした。

◎地震翌日、強風でV字アンテナ2本とトタン屋根の一部が飛びました(二丁目)

# そこで生活する私たちです。

## 東町二丁目交通問題前進のためその後

前号でお知らせしたように、十二月20日から、平成19年市と武蔵野警察の協議の上で提示された「女子大通りからの右折禁止案」について、住民各戸からの賛否の意見を求める署名がまだ戴けていない十一小路に、ワーキンググループのメンバーが各戸訪問して、賛否の署名を戴きました。年明けに整理して武蔵野警察署に持参する手はずになっていたり、メンバーの都合、先方の都合調整中に、武蔵野警察の交通課長が交替するなど、種々の都合で、また持参されていません。地方選が終わったら協議会の方の態勢を立て直し、この問題を前進させます。

## 新春おもちつき

一月23日(日)は、日和に恵まれ、九浦の「おもちつき」始まって以来?の忙しさ、推定30名程の参加でしようか。今年のトピックスは、白です。九浦もちつき30年。地域の団体にも借りられて大活躍の白は相当くたびれ、杵が当たると縁が欠け、破片が餅に混ざってしまう始末で、買換え費用を積立てる予定でした。新品は最低でも30万円とか。ところが、中古で大小2つの出物情報。早速代表他2名が見に行き、即決で小の方を一万円で譲り受けました。大は扱おうが大変かつ収納場所がないので諦めました。小といつても、今までの白より大きく、搗き手は「ぞって今までより搗きよ」といっています。



購入した臼の代表による搗き初め

今年も安藤米店主の指導で、米を蒸し搗き始めて11時、待ちかねていた参加者にお餅が配られました。開始20分、来館者が増え、搗くのが追いつかず「何度並んでもいいから1回1個で我慢して」という状況に。今年も幼児連れの親子が目立ちました。

12時には辛味も納豆も終わり、1時前に到着した少年野球の子たちには、醤油を絡めた搗きたてを食へてもらいました。沢山の青少年協の方、東保育園のお父さん、三中生ほかボランティアに、お餅のサービス、容器洗い、連絡など、様々な仕事を手伝っていただき、もち米40kgのイベントを無事終了。邑上市長、石橋本宿小校長、押本副校長もお餅を搗いでくださいました。

## 外環地上部道路について

外環の通る7区市の住民が連帯して行った外環ウォークは、「なぜ外環に反対なのか」を可視化するため「外環ウォークpart2」として、愛してやまぬもの、後世に残したいものなどをシールで表現したマップをと、各地域6箇所で行った委員会を作り共有できる資料作りをしました。

一月23日午後、武蔵野芸術ホールで

参加者71名が各地域の成果物を持ち寄り総集編の会。成果は全長8m幅2mの巨大な地図上に貼りこまれ、問題個所には、ポストイットが何重にも鱗のように立ち上がり、立体地図のようで見えた。地上部の計画である「外環2」は、反対が圧倒的です。

## 外環地上部道路話し合いの会7回

一月28日、商工会館での第6回話し合いで、「東京都が提案している3つの案」でやっていくという東京都土屋課長発言をめぐる激論になりました。

南町の濱本氏の主張、昭和41年の時点で廃止すべき(九浦の家だより89号)に対しては「できない」、「現在の話し合いが三つの提案にとどまるものではないはずだ」については、土屋課長も司会者も第4の案があると言っており「3案に限るものではない」で合意。東京都の出す3案に対して、住民が「廃止をふくめて別案を出す」と出てくるという事です。ただし、「話し合いの会」は決める場所では無いから、都は「話し合いの会」のまとめやその他の住民の声を参考にして判断するのだそうです。

第2回資料「武蔵野市の現状と課題」二つの資料に沿った説明と、東町の古谷氏提出の資料を映写しながら説明したところで時間切れ。

次回(四月下旬予定)は、古谷氏の「資料2」の説明と、武蔵野市の提出資料の説明。更にこの5つの資料への質問に入り、その後、交通量推計を含め「必要性のデータ(整備効果)」の資料が出ると思われます。

◎今年松が取れてから寒さは急に厳しくなりました。12日始めて結氷。

◎9日の出初式の折、消防第一分団が、技量優秀で、市長表彰を受けました。23年度の東京都消防操法大会に武蔵野市から4年ぶりに代表として出場します。

◎一月10日の成人式に、新成人を代表して、東町の高木麻衣子さんが堂々たる新成人挨拶。麻衣子さんは当「ミセン」の窓口事務を担当していました。

◎暮れから雨がなく、町内乾き切った24日7時過ぎ、待望の雨が降りましたが、異常乾燥注意報解除まではいきません。

◎一月半ば、五日市街道オリジン東に、有名な花も出て「魂や 琥珀」開店。パーストーンなどのお店です。

◎一月29日、本宿小の全校授業参観。高学年は絵や写真から情報を読み取って物語を作ったり、社会的な状況や環境の問題を小グループで話し合いながら調べ上げたり、質問も活発でした。同日、青少年協本宿地区委員会が、1階ホールにジャンボリールを展開、テントや写真で、ジャンボリーの楽しさをPR。

◎一月1日昼ごろ東町に雪が舞いました。その後3日ほど降雪を見、14日遂に5cm程の積雪。25日に蛙が出て、28日にはみぞれと今年は激しい気温の変動です。

◎二月3日、東京都が「外環その2」地上部街路のための交通量調査。7時~19時の12時間、地蔵坂女子大東側女子大西交差点美大通り出口の5か所。

◎五日市街道吉祥寺大通り突き当たりの東「ミ」公式掲示板が、市の駐輪場と商店街の荷さばき場設置工事のため一時

吉祥寺東コミュニティ通信

# 九浦の家づくり

きゅうほ

●NO91 '11. 03. 31

吉祥寺東コミュニティ協議会

● 武蔵野市吉祥寺東町

1-12-6

吉祥寺東コミュニティ

センター(九浦の家)

●電話0422-21-4141

皆様ご参加ください

## 吉祥寺東コミュニティ協議会 (九浦の家)

### 平成23年度住民総会

4月16日(土) 午後2時~

総会終了後 3時~4時

#### 「美しく健康に暮らすために —呼吸と気功—」

お話 日本導引養生功連盟理事養生木蘭会会長  
田淵 とみえさん

4時~こんだん会

九浦の家は地域のセンターとして、コミュニティ協議会は地域の課題と積極的に取り組む事務局組織として、活動していく予定です。

である東町は、現在まで停電なしです。西久保から西では北部が18日夜停電となりました。停電がなかった吉祥寺一帯も、大型商店街は5時ごろ早々と閉店、住宅街も、街灯はついているものの、明かりは一室か二室と節電ぶりがうかがえます。

今回武蔵野近辺は震度5弱(多くの人が身の安全を図ろうとする。棚の食器や本が落ちることがある。窓ガラスが割れて落ちることがある)でした。これも揺れ幅や上下動などで被害の現れ方が変わります。

市役所では7階議場の天井がシャンデリアとともに落下しました。吉祥寺東町の被害は、大谷石やブロック塀の崩れ落ち5件、屋根瓦の破損、ずれを5件確認していますが、大方は外見は無傷でした。ただ、墓地の墓石や庭の石灯籠が倒れた例は複数あります。

電話は、地震後すぐに家の電話も携帯もつながらず、連絡手段に困りました。

地震1時間後、町内を自転車で回りました。その途中2度目の茨城沖の地震があり、多くの方が玄関先や道に出て、ご

近所の方と話しておいででした。独居調査中の民生委員さん、ケア・マネさんが訪ねたり、工務店の人が住宅を見回すのに会いました。ゆとりえ在宅介護支援センターも担当高齢者宅をまわっています。

公立保育園は親が帰宅困難で、お泊りの子どもが何人か出ました。京王線が走ったので、吉祥寺駅前には、一時二千人を越えるバス・タクシー待ちの人がいて、東町駐在も応援に出、帰宅困難者の宿泊先の商工会館、公会堂、本町コミセンなどの案内をしました。

地震の直接被害は微小でしたが、止まったガスの安全装置解除が出来ないと、民生さんや駐在さんが呼び出されました。

東町にも東北地方に縁籍のある方が多数おられます。今回の地震と巨大な黒い津波では、お身内や友人を亡くしたり、親戚の家全壊という話も多々うかがいます。お見舞い申しあげるとともに、被災地の方々の生活再建のための協力を私たちもしていきたいと思えます。

#### 三月23日、臨時運営委員会開催

吉祥寺東コミュニティセンター九浦の家は小型館なので、午前午後の事務担当は一人です。地震発生時、利用が一組だったので地震警報を伝えられましたが、複数だったら無理でした。揺れが収まって20分後、指定管理受託者として代表が駆け付け、閉館まで対応しました。

ロビーのテーブルに出したヘルメットをかぶり、しばらく避難していた通行者もいました。外に逃げ出した後、いつまでも帰らなかった若いお母さんたちも何人もいました。小さい子を連れて一人で家にいるの

#### 予告

#### 東部福祉の会総会

四月15日(金) 14時~本宿ミセン  
15時半より、福祉計画づくりのための地域懇談会

#### 九浦フリーマーケット

六月5日(日) 10時半~13時半

外環地上部道路話し合いの会 四月下旬

が不安だったのでしよう。

本町コミセンは市の依頼で帰宅困難者用に終夜開放し、水道道路沿いの南町コミセンは、水とトイレ提供のため開館し、疲れ果てた方を和室で休憩させました。

東町地域では、九浦の家と東部福祉の会で、防災フェスティバルなどを通して災害時のことを考えて来ましたが、コミュニティセンターの役割を更に研究します。

とりあえず、利用者には、地震速報が出たら、大きな振鈴の音で知らせることにしました。地震が発生したらセンターは、出来る限り開ける。そのために、家が無事だったら運営委員はまず来てみる。防災無線で連絡をとる方法をマスターするなど、コミセンとしての初動体制の基本をまず組み立てます。

◆四月以降について、東町は当面、計画停電対象区域外となったので、夜間利用の予約を受けつけます。

#### 東町ニュース

大きな地震でした。それでも今東町ではミナガが咲き、椿が咲き、はつばとフシが咲き、桜のぼみが開花寸前です。

私たちの暮らしは、こんなにも福島や女川の電力に依存していました。極力節電に努めましょう。

## 武蔵野市関東大震災 以来の揺れ?

東コミ代表 九浦の家に詰める

戦後生まれには多分初めての体験となる広域停電ですが、地域別第1グループ